

九州北部豪雨被災地に防犯カメラを貸与

2017年7月5日に発生した九州豪雨で被害が多かった朝倉市、東峰村に防犯カメラ「移動式太陽光発電録画一体型防犯カメラ 安視ん君」を5台無償貸与し、主要道路に2か所、避難所に3か所設置しました。期間は8月17日より6か月間です。

尚、仮設住宅が順次建設され11月26日に全ての仮設住宅が完成し、入居が完了したため、避難所が閉鎖されました。避難所に設置のカメラは仮設住宅に移設の予定です。

■設置の経緯

被災発生直後、県外ナンバーの不審車が頻繁に走り、避難所での置き引きや、空き家での侵入盗が30数件発生、不審者情報も警察に届けられているところに、株式会社プロテック様から防犯カメラの無償貸与の提案をいただきました。

福岡県警本部を介して朝倉市、東峰村に申し出、設置が実現しました。設置作業については(株)共栄通信様のご格別なるお心遣いで施工していただきました。

■北部九州豪雨とは



2017年7月5日から6日にかけて福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨です。福岡県朝倉市、うきは市、久留米市、東峰村等では1時間に100mmを超える雨量がありました。特に、朝倉市付近では降雨量が多く、最多雨量で586mmを記録し、朝倉市と東峰村に甚大な被害を齎しました。

豪雨による土砂崩れで多くの流木が発生、川をせき止め、氾濫し周囲の住宅や畑に流れました。

人的被害は34人の方が亡くなり、12月1日現在でも4名の方が行方不明のままです。

道路被害では、流木が橋脚に引っかかり道路を寸断し一時20以上の集落が孤立状態になりました。

鉄道被害はJR九州日田彦山線で、線路が寸断され添田駅～夜明駅間、約30kmが不通になり12月1日現在でも開通の見込みが立っていません。

避難所は朝倉市に3か所、東峰村に1か所設置されました。その後、仮設住宅の建設が朝倉市で3か所、東峰村で1か所設置され11月下旬に入居が終わり、避難所も閉鎖されました。

